

ノン・アスベスト製紡織品



T AFLITE #3800 ハイシリカ・クロス
耐熱性断熱用クロス

大一工材株式会社

〒583-0037 大阪府藤井寺市津堂 4-319-4

TEL : 072-931-0555

FAX : 072-968-9799

http://www.dai-ichi-mtl.com

T AFLITE # 3 8 0 0 ハイシリカ・ファイバー・クロス

For High temperature heat-insulation.

T AFLITE # 3800

ハイシリカファイバー・クロスは高温領域における耐熱性断熱材として使用されます。



基本特性 (ハイシリカクロス)

ガラス材質	Na ₂ -B ₂ O ₃ -SiO ₂
繊維径	9μ
繊維密度	3.4g/cm ³
使用限界温度	≤1,600°C×15秒
継続使用温度	1,000°C
融点	1,740°C
熱伝導率	0.035Kcal/m・h・°C
SiO ₂ 成分	≥97%
強熱減量	≤3%

用途

- ☞ パイプ・ダクトの断熱被覆材
- ☞ 焼鈍・溶接の火花受け、スパッターシート
- ☞ 断熱・防熱カーテン、カバー、ベローズ、エプロン。
- ☞ 保温・保冷工事用断熱フトン、保温材の被覆材
- ☞ ゴムの補強芯材、各種パッキンの芯材、その他。

仕様

品名	ハイシリカ・クロス		シリカ・クロス	
	#3800		#3810LG	#3810
厚み (mm)	0.65	1.4	1.0	0.65
幅 (mm)	1000 mm	910 mm (±10 mm)	890 (±10)	
重量 (g)	590/m ²	1060/m ²	670/m ²	
密度 (糸本数/10mm)	縦系	15	18	
	緯系	13	12	
引っ張り強度 (N/25×100mm)	縦系	2000		
	緯系	1300		
織り組織	サテン		サテン	
長さ (Mts./乱)	50		22/45	50
継続使用温度 (°C)	1,000		1,000	
最高使用温度 (°C)	1,200		1,200	
融点 (°C)	1,740		1,740	

*改良のため仕様変更の場合があります。

製品寸法

品名	ハイシリカ・クロス		シリカ・クロス	
	#3800		#3810LG	3810
厚み	0.65	1.4	1.0	0.65
幅 (mm)	1000 mm	910 mm (±10)	890 (±10)	
交差 (mm)				
長さ / 一巻 (Mts./乱)	50	30	22/45	45

耐熱性断熱用紡織品：耐炭化カーボン・クロス/リボン、セラミック・クロス/リボン、膨張黒鉛製クロス/リボン、シリカ・クロス/リボン、耐熱処理ガラス・クロス/リボン。SuS316 フォイル入り膨張黒鉛シート、各種ガスケット材。

ノン・アスベスト製紡織品



TAFLITE# 3800 シリカ・クロス
耐熱性断熱用クロス

大一工材株式会社

〒583-0037 大阪府藤井寺市津堂 4-319-4

TEL : 072-931-0555

FAX : 072-968-9799

<http://www.dai-ichi-mtl.com>

TAFLITE # 3800 ハイ・シリカ・クロス

For High-Temperature Heat-insulation.

物 性 表

呼称厚	0.65mm
材質	Na ₂ -B ₂ O ₃ -SiO ₂ System glass
SiO ₂ 成分	≥97%
厚み±公差	0.65±10%
クロス幅	860±20mm
重量/M ²	590

引 っ 張 り 強 度 (Kg/25×100mm)	
縦系 (Kg)	2000
横系 (Kg)	1300

耐熱性断熱用紡織品：耐炭化カーボン・クロス/リボン、セラミック・クロス/リボン、膨張黒鉛製クロス/リボン、シリカ・クロス/リボン、耐熱処理ガラス・クロス/リボン。SuS316 フォイル入り膨張黒鉛シート、各種ガasket材。



ノン・アスベスト製紡織品

TAFLITE # 3800 シリカ・クロス

耐熱性断熱用クロス

大一工材株式会社

〒583-0037 大阪府藤井寺市津堂 4-319-4

TEL : 072-931-0555

FAX : 072-968-9799

http://www.dai-ichi-mtl.com

TAFLITE # 3800 ハイ・シリカ・クロス

For High-Temperature Heat-insulation.

試 験 報 告 書

- 試 験 目 的 : 使用限界温度と継続使用時間
- 試 験 見 本 品 : TAFLITE #3800 ハイシリカ・クロス
0.65 mm/T×35mm×35mm/一片。
- 試 験 方 法 : 上記見本寸法の異なる数枚の試験片を用意し、異なる時間の条件下で性能を観察する。

温 度 (°C)	加熱時間	引っ張り強度の推移
1,550	2 分間	強度は比較的維持されている。
1,600	2 分間	強度の減少が認められる。
1,650	90 秒	試験片の周囲に少しの欠陥が認められる。 強度はほとんどなし。
1,700	30 秒	完全崩壊。